

平成22年度事業報告書

(平成22年4月1日より平成23年3月31日まで)

平成22年度事業活動報告

1] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する人材育成 (定款第4条第1項関係)

- クラシック界のパワーアップに向けて、他団体と連携を強化すべく、その第一段階として日本オーケストラ連盟とともに日本芸能実演家団体協議会の文化政策ビジョン構築の委員会に参加し、他の分野の芸術団体と共に、文化庁に対して助成制度の変革(赤字補てんの仕組みから、インセンティブのある仕組みへ)を求め、合わせて文化予算の増額運動を展開し、63万筆の署名を集め12月に音楽議員連盟への請願運動を行った。
- 関西クラシックネットワークとの連携による合同シンポジウムを開催した。関西の本会会員のみならず、多くの関係者と本会の理事を中心として、「青少年へのクラシック音楽普及施策」と題して30人の参加者を集めて開催した。
日 時 平成23年3月18日(金) 15時00分~18時00分
会 場 大阪いずみホール リハーサル室
参加者 関西クラシックネットワーク17名 本会役員13名
- 経営者がタイムリーなテーマを協議し、会員のスキルアップ、同業種の共通問題の解決、経営者間の情報交換と親睦等を深めるべく、参加者を限定して実のある議論を展開する「10人会」は、以下のテーマで計2回開催された。
※第1回 テーマ 文化行政における室内楽・ソロ公演に対する助成制度の研究
日 時 平成22年7月8日(木) 10時30分~12時30分
※第2回 テーマ 「室内楽・アンサンブルの育成プロモーション」の文化庁への共同提案の協議
日 時 平成22年11月9日(火) 14時00分~16時00分
- 財団法人地域創造の主催するステージラボ群馬セッションの自主事業コース音楽部門のコーディネートを丹羽徹事務局長が受け、コーディネーターとして自主事業(音楽)コースを担当し、カメラータ・トウキョウの井阪紘氏、京都市交響楽団の新井浄氏、善積常務理事等が講師として参加し20名のホール担当者に対して研修を行った。
- 舞台芸術フェア・アートマネジメントセミナー2011(主催:文化庁/社団法人全国公立文化施設協会)のプログラムに「クラシック音楽と落語を事例に実践企画づくり」と題して徳永英樹専務理事と善積俊夫常務理事がパネリストとして参加した。
※「クラシック音楽と落語を事例に実践企画づくり」
日 時 平成23年2月16日(水) 15時00分~17時00分
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟501

2] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する調査及び研究 (定款第4条第2項関係)

- 事業環境のバックアップの為の事業情報収集提供に向けた(企業記念事業・CSRの文化課題)調査研究については、メセナ協議会のセミナーやシンポジウムに参加し情報の収集に努めたが、具体的な報告書による告知にはいたらなかった。
- 二次使用、映像化等多様化する事業環境に対応する為の新契約書式の研究開発に向けたフォーマットの作成については、文化庁の助成の仕組みの変更により、出演費の分離(公演当日経費と稽古費)などの仕組みの変更や、二次使用の問題等に不明確な点があり対応が遅れている。

3] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する普及及び啓発 (定款第4条第3項関係)

- クラシック音楽の普及と協会の認識を高める為の新規事業「JAPAN CLASSIC FESTIVAL 2010」を開催した。クラシック音楽が映画やCM等市場に溢れている時代にあって、コンサート市場を支えている主要な世代はシニア世代であることを踏まえ、次世代を担う子どもや若い世代へ向けて、クラシック音楽が持つライブ感、新しい魅力を発見できるような機会の充実を目指し、会員各社の主催・開催する公演を音楽祭参加公演として登録し、学生向けのユース席の提供を求め、若い世代に向けて優れた公演の提供をはかった。又、エデュティメント企画として、公開リハーサルやバックステージツアー等も公演主催者と共に実施して次世代の観客育成に向けた取り組みを行った。
名 称 JAPAN CLASSIC FESTIVAL 2010 (邦題 日本クラシック音楽祭 2010)
会 期 2010年10月1日~11月30日
テーマ 「クラシックを知らない人生なんて! きっと・・・見つかる」
開催地 全国(北海道札幌市~熊本県熊本市)

共催 (社)日本オーケストラ連盟

後援 経済産業省、文化庁

特別協力 読売新聞

協賛 オリックス株式会社、花王株式会社、昭和音楽大学、株式会社日清製粉グループ本社

Bunkamura Web Magazine B-style、ヤマハ株式会社、財団法人ヤマハ音楽振興会

参加公演数 : 106公演(参加公演提供社 全56社・団体 本会会員含む)内、教育プログラム7公演

招待席提供枚数 : 899枚

応募総数 : 2041件

- 財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業に協力して、地域の公共ホールに於けるクラシック音楽普及の一環として、新人アーティストに活躍の場を提供し、地域音楽文化の活性化を促進した。財団法人地域創造からの受託事業として、プレゼンテーションの実施、実施ホールの担当者に対する研修会の一部を受託し、講師の派遣を行った。又、平成23年度の同事業についても、4月より各地域での開催を可能とするため、全体研修会及びプレゼンテーションが前年度への前倒しとなり、平成23年1月に開催された。

※平成22年度公共ホール音楽活性化事業(全国20ホールで実施)

岩手県一関市、宮城県多賀城市、宮城県塩竈市、秋田県八郎潟町、茨城県笠間市、栃木県栃木市、千葉県浦安市、東京都狛江市、新潟県柏崎市、長野県箕輪町、岐阜県飛騨市、愛知県田原市、和歌山県上富田町、広島県熊野町、愛媛県上島町、高知県須崎市、高知県香南市、佐賀県佐賀市、佐賀県鳥栖市、大分県玖珠町

※平成22年度登録アーティストによるプレゼンテーション

10人(組)の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成22年4月15日(木) / 会場: 津田ホール

※平成22年度実施ホール全体研修会

実施ホールの担当者に対して開催された研修会に講師・演奏家を派遣した。

平成22年4月14日(水)～16日(金) / 会場: 地域創造会議室

※平成23年度登録アーティストによるプレゼンテーション

10人(組)の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成23年1月27日(木) / 会場: 第一生命ホール

※平成23年度実施ホール全体研修会

実施ホールの担当者に対して開催された研修会に講師・演奏家を派遣した。

平成23年1月26日(水)～28日(金) / 会場: 地域創造会議室

- 公共ホール音楽活性化事業の継続サポート事業「公共ホール音楽活性化支援事業」についても、協会として制作協力体制を整え、プレゼンテーションを開催するとともに、平成22年度は全国23ホールで実施した。又、公共ホール音楽活性化事業姉妹事業であるアウトリーチフォーラム事業についても過去の参加アーティストによるプレゼンテーションも同時開催された。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

全64人(組)の登録アーティストのうち、40人(組)によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。アウトリーチフォーラム事業からは全4組のアンサンブルが参加して開催された。

平成22年8月3日(火)・4日(水)・5日(木) / 会場: 東京芸術劇場リハーサル室

- (財)地域創造の実施する公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業(都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業)のアーティスト派遣に関するマネジメント業務を実施した。又、平成23年度の滋賀県及び和歌山県セッションの実施に向けた派遣アーティスト(アンサンブル)の選考会を行った。

※京都府セッション(綾部市、伊根町、舞鶴市、福知山市、京丹後市、宮津市)

○期日 平成22年7月3日 綾部市公演(綾部市中央公民館)

平成22年9月11日 福知山市公演(夜久野ふれあいプラザ)

平成22年10月9日 伊根町公演(伊根町コミュニティセンターほっと館)

平成22年10月9日 舞鶴市公演(舞鶴市総合文化会館)

平成22年10月16日 京丹後市公演(京都府丹後文化会館)

平成22年10月23日 宮津市公演(宮津会館)

○アウトリーチ研修会の開催 平成22年5月27日(木)～6月1日(火) 綾部市中丹文化会館

○フォーラム・ガラコンサートの開催 平成22年12月18日(土) 綾部市中丹文化会館

○派遣アーティスト 審査会による選出演奏家3組(ピアノトリオ、弦楽四重奏、サクソ四重奏)

※滋賀・和歌山セッション派遣アーティスト選考会

平成23年度実施予定の滋賀及び和歌山セッションに向けたアンサンブルの派遣アーティスト選考会を実施した。

【第一次選考会(音源・書類審査)】

平成22年12月13日(月) / 会場: 財団法人ヤマハ音楽振興会ヤマハエレクトーンシティリハーサル室

応募者 12 組 第 1 次選考通過者 10 組

【第二次選考会（実技・面接審査）】

平成 22 年 12 月 22 日（水）／会場：昭和音楽大学南校舎ユリホール

第一次選考通過者 10 組 合格者 6 組（派遣アンサンブルの編成に考慮して次点合格者 3 組含む）

第一次・第二次共通審査員：楠瀬寿賀子、花田和加子、中川賢一

- 東京文化発信プロジェクトの一環として開催された「ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー」（“声”をキー・テーマとし、「ハイクオリティな芸術創造」と、「参加性」を柱に、東京の音楽と芸術文化シーンを活性化させると共に、日本全国、そして世界へと発信するフェスティバルを目指す）については、実行委員会の一員として、又、実行委員会事務局として東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）からの委託を受け以下の公演を開催した。又、「ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー」の中核となる「スーパー・コーラス・トーキョー」の運営とマネジメントについては本会としてこれを受託し公演の開催に向けたマネジメントを行った。

※ 「ヴェルディ：レクイエム」～ “スーパー・コーラス・トーキョー” デビューコンサート～

○期 日 平成 22 年 10 月 9 日（土）18 時開演

会 場 東京国際フォーラム ホール C

料 金 S 席 8,500 円 A 席 7,000 円 B 席 5,500 円 C 席 4,000 円

○期 日 平成 22 年 10 月 11 日（月・祝）15 時開演

会 場 パルテノン多摩 大ホール

料 金 S 席 7,500 円 A 席 6,000 円 B 席 4,500 円 C 席 3,000 円

○期 日 平成 22 年 10 月 13 日（水）19 時開演

会 場 サントリーホール 大ホール

料 金 S 席 8,500 円 A 席 7,000 円 B 席 5,500 円 C 席 4,000 円

出演者 指揮： イオン・マリン

ソリスト：ソプラノ：ヴィクトリヤ・ヤストレボヴァ

メゾソプラノ：藤村実穂子

テノール：マリウス・ブレンチウ

バリトン：ロベルト・スカンディウツィ

管弦楽： 東京都交響楽団

合 唱： スーパー・コーラス・トーキョー

合唱指揮： ロベルト・ガッピアーニ

※ “スーパー・コーラス・トーキョー” お披露目イベント

期 日 平成 22 年 9 月 3 日（金）19 時開演

会 場 めぐろパーシモンホール 大ホール

料 金 入場無料

出演者 指揮/編曲：ロベルト・ガッピアーニ

合唱：スーパー・コーラス・トーキョー

演奏：特別編成室内オーケストラ

- 「Kona フェスタ 2010」への音楽企画の提案

日清製粉グループの主催による「Kona フェスタ 2010」（「食」を中心に「遊ぶ」「学ぶ」「楽しむ」をキーワードに参加性の高いエデュティメント（教育）＋（娯楽）を形成し日清製粉グループの CSR を表現する場とする）の受託企画制作として以下 4 組のアーティスト企画を提供し公演制作を行なった。

※ 「Kona フェスタ 2010」の音楽イベントの受託

日 時 平成 22 年 10 月 2 日（土）・3 日（日） 両日共午前 10 時開場

会 場 国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン（東京都立川市） 総入場者数 15,000 名。

出 演 和太鼓兄弟ユニット「はやと」 / オペラ歌手と歌おう「馬原裕子&大川信之」

エキセントリック アイリッシュ 平沼有梨 / 中川英二郎とディキシーサミット

- 丸の内元気文化プロジェクトの一環として、丸ビル及び新丸ビル、丸の内 OAZO にて、ミニライブを年間 5 回開催した。この事業は、大手町・丸の内・有楽町地区再開発推進協議会と文部科学省が推進する事業で、街の文化力を高め、その力で社会を元気にする活動として推進されている。尚、全 5 回の合計来場者数は約 1000 人。

※丸の内元気プロジェクト共催事業 日本クラシック音楽事業協会 PRESENTS クラシックサロン

第 1 回 8 月 20 日（金）18 時 00 分～ 至高の津軽三味線・民謡の響き～

出演 津軽三味線あべや（阿部金三郎・阿部銀三郎・根本麻耶）

第 2 回 10 月 6 日（水）19 時 00 分～ ～4 つの手が奏でる究極の連弾ワールド～

出演 デュエットゥ（かなえ&ゆかり）

第 3 回 11 月 12 日（金）19 時 00 分～ ～ジャズと熱い夜～

出演 蓮見昭夫（ジャズギター）、上西千波（ボーカル）、高島春樹（ピアノ）

第4回 12月20日(月)19時00分～ Acoustic Café コンサート

出演 Acoustic Café (ツルノリヒロ、Ayako、平沼有梨)

第5回 2月9日(水)19時00分～ 愛にあふれた音楽で彩るバレンタインコンサート

出演 清水詩織(チェロ)、新居由佳梨(ピアノ)

●宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの理解促進及び普及宣伝に向けたランチタイムコンサートを東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間10回開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとのコンサートを通じたコミュニティ活動を行なった。尚、全10回の合計来場者数は約4000人。又、大阪・難波にある宝くじドリーム館でもモデル事業としてジャンボ宝くじ発売に併せて年間3回開催し継続開催の可能性を探った。

※東京宝くじドリーム館ランチタイムコンサートの開催

Vol,1 4月21日(水)正午～ 春爛漫! 昼どきハーブコンサート 出演:福島青衣子(ハーブ)

Vol,2 5月19日(水)正午～ 美しい五月よ! ～夢で逢いましょう～ 出演:黒田晋也(テノール)

Vol,3 6月16日(水)正午～ 竹村浄子 名曲コンサート～癒しのクラシック～ 出演:竹村浄子(ピアノ)

Vol,4 7月21日(水)正午～ 大当たり! ヴァイオリンの魅力満載コンサート 出演:大森潤子(ヴァイオリン)

Vol,5 9月15日(水)正午～ トロンボーン vs がちょーん わくなしクラシック! 出演:加藤直明(トロンボーン)

Vol,6 10月20日(水)正午～ マリンバで癒しのひとときを 出演:宮本妥子(マリンバ)

Vol,7 11月17日(水)正午～ 吹く(福)が良し! 江崎浩司の空飛ぶ笛 出演:江崎浩司(リコーダー)

Vol,8 12月15日(水)正午～ 魅惑のメゾソプラノ～菅家奈津子の世界～ 出演:菅家奈津子(メゾソプラノ)

Vol,9 1月19日(水)正午～ 情熱の対話 ヴァイオリンとピアノの関係って?! 出演:松本蘭(ヴァイオリン)

Vol,10 2月16日(水)正午～ 音の散歩道～ロマンティックなピアノの調べ～ 出演:田村緑(ピアノ)

※大阪宝くじドリーム館ランチタイムコンサートのモデル開催

Vol,1 5月27日(木)正午～ ドリームツアー!～ピアノで綴る珠玉の名曲集 出演:白石光隆(ピアノ)

Vol,2 7月22日(木)正午～ ショパン・イヤールに贈るショパンゆかり(!?)の三人の美女によるコンサート
出演:デュオ・プリマ(ヴァイオリン・デュオ) & 高橋多佳子(ピアノ)

Vol,3 12月9日(木)正午～ 優しい癒しの時～リクライニングコンサート～ 出演:藪田真木子(ソプラノ)

- クラシック音楽の聴衆の増加を目指して、協会のスケールメリットを活かした会員の協同広告事業について、従来の朝日新聞音楽情報欄に加えて、昨年度より実施している朝日新聞の朝刊ミュージックプラザ欄に秋シリーズの10・11・1・2月の4回に亘り、毎月1回のスペースで会員の共同広告を掲出し、協会の知名度の向上と共にコンサートのピーアール活動を展開した。尚、会員の利用率の減少に伴い次年度については、会員の利用調査を実施し、掲載可能率の高いシーズンを選別して、多くの会員の利用に向けて行う計画である。

4] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する知的財産権の維持・管理及び保全

(定款第4条第4項関係)

- 音楽著作権使用料の再改訂協議と、併せて許諾・申請事務の合理化に向けた仕組の構築に向けて、日本音楽著作権協会と協議を行ったが有効な事務委託の方式が見いだせず課題として積み残した。
- コンサート約款の制定・普及については全国コンサートツアー事業者協会と協議を行い、雛形を作成した。今後は雛形をベースにクラシックコンサートへの適応を目指す。

5] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する情報収集及び提供事業 (定款第4条第5項関係)

- 本会のポータルサイト「クラシックコンサート情報公式サイト Japan Classic Navi」については、多くの会員の利活用を資するサイトにすべく展開してきたが、サイトに情報を継続的に掲出する会員の低迷と、利用者のアクセス数の伸び悩みにより、運用費の捻出が厳しいことから、サイトの運用を本会事務局内部に置き、費用のコストダウンをはかり、継続的に運用することとなった。
- クラシック音楽事業ガイドをリニューアルし、協会や会員の活動を広くアピールすべく発刊を計画していた広報誌については、旧ガイドブックとの内容の兼ね合いや、広報予算との関係で今期は発刊に至らなかった。

6] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する内外関係機関等との交流及び協力事業

(定款第4条第6項関係)

- 平成22年11月26日～28日にシンガポールにて開催されたFACPの第28回年次総会にて、アジア諸国との音楽文化活動の交流を深めるべく、本会より茂田国際委員長、関田副会長、福田監事、中坪会員が出席し、今後の日本側の理事を今回出席の四名で構成することとなった。
- 芸術文化都市東京を創ろうネットワークの企画について、企画協力及び公演制作協力を行うと共に、開催日には

スタッフ等人材の派遣を行った。

※ ルネ小平「芸術家と子どもたちとの出会い」 平成22年8月29日(日) 会場:ルネ小平

7] その他本会の目的を達成するための事業 (定款第4条第7項関係)

- 平成22年度の会員数は、正会員53会員(平成21年度末)より、48会員(平成22年度末)に(この間退会5会員、賛助移行0会員、新入会0会員)、賛助会員58会員(平成21年度末)より、58会員に(入退会0会員)なった。平成20年度から正会員の減少が続いており、不況の中、会勢を維持できるよう会員の勧誘を継続的に取り組んでいる。
- 文化芸術推進フォーラムの構成団体として「もっと文化を!キャンペーン」に参加し、音楽議員連盟と共に文化予算の増大に向けたキャンペーンに参加し、本会参加団体の署名6,800筆を集め、国会議員に提出した。
 - ※ 文化芸術を国の政策の基本に一心豊かな国、世界に誇れる国へ
期日 平成22年10月19日(火)18時~20時
会場 グランドプリンスホテル赤坂「新緑の間」
主催 社団法人日本芸能実演家団体協議会/超党派・音楽議員連盟
 - ※ 文化関連予算の大幅な増額等を求める請願
期日 平成22年12月2日(木)
会場 衆議院・参議院 各議員会館
 - ※ 文化芸術立国に向けて「もっと文化を!」国会請願に託して
期日 平成22年12月2日(木)
会場 衆議院別館5F講堂
- 事業環境整備として芸術ヴィザでの公演可能へ制度改正を働きかけ併せて二重源泉税問題の解消へ各方面と交渉を継続している。
- 公益法人法改正に伴い、平成23年1月17日に開催された臨時総会にて、協会の今後の方向性について議論が交わされ、現在の協会の財務状況、会員の減少等の状況を考慮し、公益法人を目指すことを見据えつつも現状では一般法人として申請することが望ましいとの見解が多く、一般社団法人として移行申請することとなった。